

那須烏山市議会議長
青木敏久様

(議席番号) 8番 滝口貴史印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 市道の管理等について	<p>市道の管理等に関し、以下の点について伺う。</p> <p>①道路パトロールの実施状況と市民からの通報への対応体制についてどのようにになっているか伺う。</p> <p>②私有地からの倒木、落石など緊急を要する場合にはどのような対応をとっているのかを伺う。</p> <p>③私有地から市道に張り出している道路支障木が問題となっているが、市民への周知及び市内における現状把握について伺う。</p> <p>④令和5年4月1日から改正された民法第233条が施行となったが、改正民法の活用について、市の考えを伺う。</p> <p>⑤道路通行支障木の問題解決に向けた今後の展望と新たな施策について伺う。</p>	市長
2 商工観光振興策について	<p>本市の商工観光振興策について、以下の点について伺う。</p> <p>①歴史的資源の活用について 烏山城跡やどうくつ酒蔵など、歴史的価値を持つ観光資源の活用について、どのような計画があるかを伺う。特に若年層をターゲットとした企画があるのかを伺う。</p> <p>②特産品開発と販路拡大について 烏山和紙、那珂川の鮎、中山カボチャなど、市の特産品を活かした新たな商品開発をどのように支援していくのか。また市の外での販路拡大や、ふるさと納税を活用したPR戦略についてどのような考え方を持っているのかを伺う。</p> <p>③地域資源を活用した周遊ルートの開発について 龍門の滝や烏山城跡といった観光地と、市内の飲食店や商店、体験施設などを結び付ける周遊ルートの開発はしているか伺う。また令和4年度から昨年まで南那須地区神社15社めぐりというものがあった。市内をはじめ、八溝地域を周遊するスタンプラリーや御朱印巡りの創設について伺う。</p>	市長 教育長



3 市税の徴収等について	<p>市の重要な自主財源である市税の徴収等に関し、以下の点について伺う。</p> <p>① 市税の徴収率向上について 近年の市税の徴収率の推移と、その現状についてどのように認識し、徴収率向上に向けた具体的な取組（催告、差し押さえなど）はどのように行われているか。また、その成果と課題について伺う。</p> <p>② 紳税が困難な方への支援について 納税が困難な市民への相談体制はどのように整備されているか。滞納整理にあたって、単なる徴収だけでなく、生活再建に向けた他部署（福祉部門など）との連携はどのように行われているかを伺う。</p> <p>③ 固定資産税の評価替えと課税の適正化について 固定資産の評価替えは3年ごとに行われているが、その評価作業の進捗状況と、評価額の決定方法について市民が理解しやすいように、改めて説明するべきと考える。那須烏山市内における空き家や耕作放棄地の増加が課題となっているが、これらの固定資産に対する課税のあり方について、現状と今後の対応方針を伺う。</p> <p>④ 新築・リフォーム等に対する軽減措置について 市民が住宅の新築やリフォームを行った際、固定資産税の軽減措置を受けられる場合があるが、その制度の周知はどのように行われているか。市民からの問い合わせや申請状況について、把握されているかを伺う。</p> <p>⑤ 法人市民税の課税状況と企業誘致について 市内の法人数や法人市民税の課税状況について、近年の推移と現状をどのように認識されているかを伺う。企業誘致は市の税収増につながる重要な施策であるが、税務課として、企業立地を促進するための他部署との連携や、優遇措置などの検討はどのように行われているかを伺う。</p> <p>⑥ 個人市民税の增收に向けた取組について 若い世代の転入や定住を促進することは、将来的な個人市民税の確保に繋がる。転入者への税務に関する情報提供や、子育て世帯への税制上の優遇措置など、市民税の增收に繋がる施策について、どのような考え方をお持ちかを伺う。</p>	市長		
総計時間	60分	発言所要時間	30分	答弁を求める予想時間